

イベント・募集



「大和学」への招待—郡山の歴史と文化— (参加無料・申込不要)

天理大学・柳沢文庫・市の共催により、大和郡山の歴史と文化に関する全5回の講演会を開催します。

時間＝各回 13時30分～15時(受付13時～)

場所＝三の丸会館

対象＝主に高齢者のみなさん(広く一般の受講も可)

定員＝各回 200人(先着順)

問合せ＝天理大学広報課(☎63-9006)

第1回 9月30日(土)「筒井順慶と松永久秀」

講師：天理大学歴史文化学科准教授 天野 忠幸
戦国時代、下剋上の代表とされる松永久秀は、南都奈良を見下ろす地に多聞山城を築きます。大和武士の代表である筒井順慶は、織田信長や豊臣秀吉より信任を得て、郡山城を与えられます。この両者の戦いから大和の戦国時代を読み解きます。

第2回 10月7日(土)「秀長以後：郡山の近世が始まった」

講師：天理大学歴史文化学科教授 幡鎌 一弘
豊臣秀長の郡山城への入部によって、大和国の近世が始まります。それまで政治・経済の中心だった奈良との関係は大きく変わり、大坂との関係が深くなっていきます。秀長以後、水野・松平・本多と続く近世前期の郡山の歴史をとらえなおしたいと思います。

第3回 10月14日(土)「郡山城天守台の調査」

講師：市教育委員会 十文字 健
これまで実態が謎に包まれていた郡山城の天守台。しかし、4年にわたる整備事業に伴う発掘や石垣の解体から豊臣政権期の遺構であることが明らかになりました。各調査成果から、全国的にも資料が少ない豊臣期の城郭構造や築城技術に迫ります。

第4回 10月21日(土)「元禄の山陵調査と細井知名」

講師：天理大学歴史文化学科元教授 谷山 正道
徳川綱吉が将軍であった元禄時代に、元郡山藩士であった細井知名の献策によって、歴代の天皇陵の調査と治定、修補が行われました。この事業の実施背景や目的、大和国での実施の有様について話します。

第5回 10月28日(土)「柳澤保光と和歌」

講師：柳沢文庫学芸員 佐竹 朋子
柳澤保光(1753～1817)は、柳澤吉保の曾孫にあたる郡山城主です。保光は、茶の湯と和歌、さらに諸芸(俳諧・生花・能楽・仮山盆・入木道・絵画)を嗜む文人大名として著名です。保光が取り組んだ和歌に注目することで、保光が和歌を通じて何を求めたのか、考えていきます。

(生涯学習課 文化財係)

郡山城天守台展望施設 特別開放

「観月会」

10/4(日)
17:30～20:30
(雨天中止)

雅楽の調べとともに中秋の名月を鑑賞しませんか。

観月会・天守台ライトアップ・雅楽演奏・観月会を行います。

場所＝郡山城天守台一帯

費用＝参加無料(ただし、茶会は実費負担)

※車での来場はご遠慮ください。

※天守台展望施設の閉鎖時間になりますが、当日は特別に開放して実施します。

問合せ＝都市計画課(内線633)



トリスポーツフェスティバル2017 ～みんなで軽スポーツを楽しもう!～

日時＝10月9日(月・祝) 10時～15時

場所＝総合公園施設(参加無料・申込不要)

※運動のできる服装で、体育館シューズを持参してください。一部種目は年齢制限があります。

問合せ＝スポーツ推進課(内線556)

※詳細は、市ホームページと広報「つながり」10月1日号に掲載します。



第64回 大和郡山市芸術祭 出品作品募集

開催日時＝10月30日(月)～11月3日(金・祝)
9時～17時

開催場所＝三の丸体育館

【出品要項】

部門＝絵画・書道・工芸・写真

出品点数＝同一部門につき1人1点。各部門とも応募作品は未発表で創意に基づくものに限りです。

※一般作品は審査し、入選作品のみ陳列します。

作品搬入＝

・9月30日(土)10時～13時(工芸)・13時～17時(絵画)

・10月1日(日)10時～13時(写真)・13時～17時(書道)

作品搬出(入選・選外とも)＝11月3日(金・祝)17時30分～18時30分、4日(土)9時～12時

出品申込＝1部門に1枚の出品申込書に、審査結果通知用の82円切手を添え、搬入日に提出

※その他の詳細は、広報「つながり」9月1日号をご覧ください。か、下記へ。

問合せ＝三の丸会館(☎53-5350)

